福祉

いみず

No.50
2018.5

お問合せはこちらまで【ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。】

社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0274　射水市小島700番地1
◆総務課 ☎52-5010

E-mail：honsho@imizushakyo.jp
ホームページ：http://www.imizushakyo.jp/

モバイル版はこちら！

バーコードリーダーで読み取りアクセス！

この広報誌は、一部共同募金の助成を受けています。

特集

社協ってなあに？

これだけはおさえておきたい 3つのポイント

みなさんは、社会福祉協議会、通称「社協（しゃきょう）」について、どれくらい知っていますか？「名前は聞いたことあるけど、社協って何をしているところなの？」「特に困っていることもないし、自分には関係ないのでは？」

そう思った皆さんはもちろん、たくさんの方に社協のことをもっとよく知ってもらえるよう、その疑問に、わかりやすくお答えします。

Q1 そもそも「社協（しゃきょう）」ってなあに？

みなさんが暮らしている地域には、ちょっとした助けを必要としている人や、困りごとを抱えた人など、さまざまな福祉課題・生活課題を抱えている方も暮らしています。しかし、「住み慣れた地域で、安心して暮らしたい」という願いは、誰しも共通の想いではないでしょうか。「社協」は、それらの問題を解決し、地域全体をより良くするため、住民のみなさんや社会福祉法人、ＮＰＯ法人、行政など、たくさんの人たちと協力して、「地域に暮らすみなさんが幸せに暮らせるまち」をつくる活動を行っています。射水市社協は、〝みんなの幸せ＝福祉〟を願い、「互いに助け合い支え合うまち　射水」を目指して、さまざまな活動をしています。ちなみに、社協は日本中すべての市町村ごとに、その街の社協があります。日本全国になると、すごい数になりますね。でも、福祉ってそれだけ大切なことで、社協も重要な存在だということなのです。

Q2 財源はどこからでているの？

社協は、社会福祉法第109条で定められた公共性・公益性の高い、営利を目的としない民間団体です。そのため、地域のみなさんからの会費や寄付、共同募金、国・県・市などからの補助金や委託金などが主な財源となっています。みなさんからご協力いただいた会費や寄付は全て、射水市社協が行う事業のために使われています。

皆さまのご協力を心より感謝いたします。

会費・寄付の種類

会費の種類	
一般会費	住人のみなさま（世帯）
賛助会費	団体・会社等、篤志家等個人様
寄附の種類	
一般寄付金	各種団体のチャリティー事業や行事等の収益、個人からの寄附
物品寄附	社会福祉を目的とした物品の寄附

例えば、こんなことに活用しています！

市内27地区社協活動への助成

二口：三世代交流ふれあいのつどい

戸破：ひよこクラブママワーク教室

ファミサポ事業への助成

会員交流会＆研修会：
～親子で楽しむ～
おはなし会＆読み聞かせ講座

他にも・・・
移送サービス、配食サービス、
ボランティア講座の開催、
広報誌の発行　　など・・・

Q3 実際にどんな活動をしているの？

社協は、地域に住む健康な人、障がいを持つ人、子育てや介護をしている人、生活をする上で困った問題を抱えている人など、子どもからお年寄りまで全ての人に関わるさまざまな活動を行っています。

でも、「何をしているのか、いまいちよくわからない・・・」という声があるのも正直なところです。そこで社協が行う事業を大きく3つのポイントに分けて紹介します。

ポイント1 地域がつながる！見守り・助け合いのネットワークを作る

少子高齢化が急速に進むとともに私たちを取り巻く環境も大きく変化しています。核家族の増加とともに高齢者の独り暮らしや地域のつながりの希薄化が問題になる中、災害時など万が一の時に助け合えるよう普段からの地域のつながりづくりの大切さが見直されています。社協では、地区社協活動への支援、ケアネット活動やボランティア活動の推進などを通じて、誰もが地域で安心して暮らせるよう、見守り・助け合い・つながりあう体制を構築し、互いに支え合う共助のしくみづくりを進めています。

障がいについて学ぶ地区社協研修会

ポイント2 困ったときの相談先になる

生活する上でちょっとした困りごとがあれば、先ずは社協へ。社協が行う事業を活用したり、適切な相談先につなぐなどして問題解決のお手伝いをします。

特に、社協内に設置している「生活自立サポートセンター」では生活のしづらさを抱える人へ相談支援を、「ファミリーサポートセンター」では射水市での子育てを支援しています。

一人ひとりに寄り添い、サポートします

ポイント3 地域の福祉ニーズに応える

地域の福祉ニーズに応えるため、車いすなどの福祉機材の貸出、愛の宅急便（ホームヘルプサービス）、福祉バスの運行、専門職による各種無料相談などをおこなっています。

また、地域を巡回してみなさんの生の声を聞き、福祉講座やボランティア講座などを開催しています。地域ネットワークを活用し、みなさんのニーズに寄り添った事業及びサービスの展開・提供をしています。

福祉機材は、
学校の授業でも
活用されています

災害ボランティアの周知を図るため、
災害について学ぶ会を開催

社協について、少し分かっていただけたでしょうか？

一番大切なポイントは、社協の活動には**地域のみなさんの協力が必要不可欠だということ**です。

今の自分たちのことはもちろん、将来の自分や子どもたちのために、射水市社会福祉協議会と一緒に誰もが安心して暮らせる福祉のまち「互いに助け合い支え合うまち　射水」を目指して、みなさんご協力を宜しくお願いします。

「福祉」とは、ひとの「しあわせ」やひとが「よりよく生きること」

福（ふく）（しあわせ） ＋ 社（し）（さいわい） ＝ 福祉（ふくし） ＝ Welfare（ウェルフェア） ＝ well（ウェル）（よく、十分に） ＋ fare（フェア）（生きる、暮らしていく）

地域の福祉力（ちからら）

地区社会福祉協議会活動紹介

七美 社会福祉協議会

◆地区社会福祉協議会とは？

略して「地区社協」とよばれ、市内には27の地区社協が組織されています。地域の「困ったなぁ」をご近所パワーや地域の力でできることはないかを考え助け合いをしています。

▲ 第16回三世代交流ふれあい祭り

▲ 住民型デイサロン「いこいの家」

地区社協からひとこと

地域振興会と共に誰もが地域の福祉に関わるつながりと信頼関係を保ち、生きがいのある生活環境づくりに努めます。

【会　長】
中川　由紀子

【設立年月日】
昭和33年３月10日

【人　口】
1,412人（平成30年１月３日現在）
- 世 帯 数　523世帯
- 高齢者数（65歳以上）518人
  高齢化率36.7％
- 児 童 数（小学１～６年生）65人

地区社協活動紹介

地区における七美社協の役割は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めることです。住民の参加と協働を基本とし、ニーズに対応した地域福祉の充実を図るため、住民同士で支え合う『絆』を大切に、全員参加の地域福祉活動の推進に努めています。

平成９年から全自治会８か所で開催している地域ふれあいサロンは、地域福祉活動の基礎となっており、サロンに集まる地域の様々な情報が、いのちのバトン普及事業、ケアネット事業の細やかな支援活動につながっています。

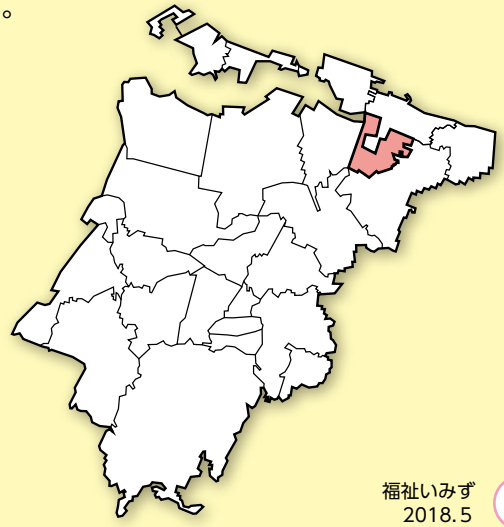
住民の福祉への理解度は高く、三世代交流の集いには約400名の参加者で賑い、地域にある福祉施設の行事や交流には多くの住民が楽しんで参加しています。

平成29年度スタートの射水市地域支え合いネットワーク事業で、住民型デイサロン“いこいの家”を開所し、毎週金曜日の七美コミュニティセンターは、朝から多くの住民が訪れ集いの場となっています。朝の挨拶「おはよう」から夕方の挨拶「またね」まで笑顔で溢れ、住民同士『お互い様』を大切にやさしさで支え合う地域福祉をめざしています。

中川　由紀子

地区の特徴・歴史

射水市北東部に位置する市内27地区中３番目に人口が少ない農村地帯で、水島柿とふきが特産物。住民同士の結びつきが深く、特別養護老人ホーム、小規模多機能型施設、ケアハウス、障がい者施設、グループホーム、幼稚園などの福祉施設が多数ある射水市東部の福祉ゾーンでもあり、地域住民で福祉の郷づくりを展開しています。



Hello!

ぼらんていあ

ボランティアセンターってどんなところ？

ボランティアセンターでは、みなさんからの“ボランティア活動がしたい”“ボランティアに来てほしい”などの相談を受け、ボランティアをしたい人と必要とする人をつなげ、たがいに充実した活動や体験ができるよう応援しています。

▲ 総合学習の時間を利用し高齢者疑似体験をする様子

例えば…。

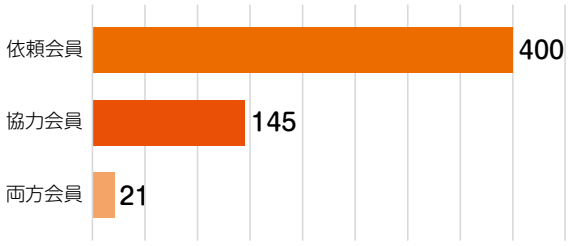
学校からの「子どもたちの高齢者理解を深めるために疑似体験を行いたい」との相談では、先生と一緒に希望や目的などに合わせて体験プログラムの内容を決めます。多くの方の協力が必要な時には、ボランティアコディネーターや社協職員だけではなく地域の方々にも協力していただき、一緒に活動を行います。

その他にも、定期的に講座開催や情報提供をし、ボランティアの輪を広げる様々な取り組みを行っています。

ファミサポ情報 平成29年度（平成30年3月末） 活動状況の報告

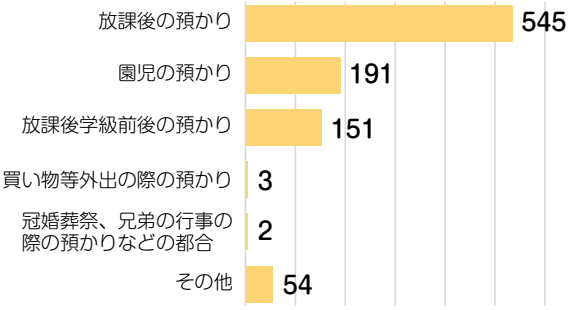
ファミサポは、いろいろなニーズに対応しています。子育て中の「ちょっとした助けがほしい」という時、依頼してみませんか？

会員数グラフ



・依頼会員…子育てを応援して欲しい方
・協力会員…子育てを応援したい方

活動内容の内訳グラフ



おすすめ絵本の紹介

「ちゃんとたべなさい」

ケス・グレイ／作

幼児から小学生まで楽しめます♪

繰り返しの面白さとオチが絶妙です！

【問合せ先】
射水市ファミリーサポートセンター
TEL：0766-52-7081

平成30年度 事業計画・収支予算

重点事業

拡 拡充事業

1 地区社会福祉協議会の活動支援

- 地区社会福祉協議会の組織体制強化
- 拡 ケアネット事業の充実
- 地区社会福祉協議会連絡協議会への支援

2 ボランティア活動の推進

- ボランティア推進校育成支援
- 拡 災害ボランティア研修会の開催、マニュアルの見直し
- 拡 ボランティアグループの育成支援
- 拡 ボランティアの発掘・養成、地域福祉ボランティア講座の開催
- ボランティアセンターの運営と機能強化

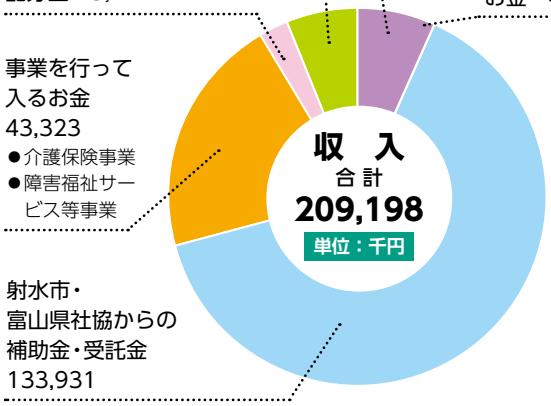
3 子育て支援事業の推進

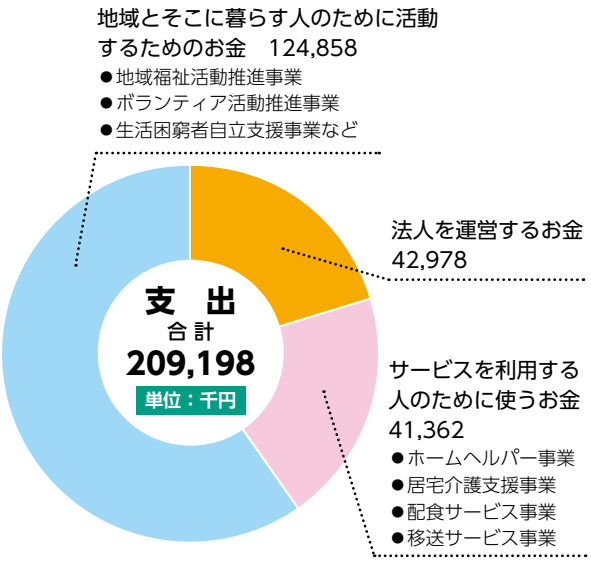
- 地域子育て支援事業の推進
- 子育て応援事業の実施
- ファミリーサポートセンターの充実

4 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

- 関係機関との連携強化による事業の円滑な推進

収支予算





赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました

皆さまから寄せられました募金は、射水市を良くする活動や皆さんが暮らす地域の事業に活用されます。ご協力大変ありがとうございました。

募金額
11,964,300円

募金種類	実績額(円)	付記
戸別募金	10,858,420	24,129世帯
街頭募金	92,671	3件
法人募金	428,287	54件
職域募金	186,448	49件
学校募金	317,035	18校
イベント募金	22,939	4件
個人募金	2,350	1件
その他の募金	56,150	89件
合計	11,964,300	

転ばぬ先のアドバイス プラス

～ケアマネからのお役立ち情報～

お出かけ日和の季節です。
さぁ、リフレッシュしましょう。

元気に過ごす健康寿命のポイントに“閉じこもり・うつ”予防が挙げられます。
気分の落ち込みが続くと、うつから“認知症”になることもあるそうです。

自宅で好きなことをし、心を和ますことも良いのですが、これからの季節はお出かけを楽しみませんか？観光名所とまでは行かなくても近くの公園や公共施設、ショッピングセンター、思い出の場所へ足を運んでみましょう。

しかし、足腰に自信がないと不安もあることでしょう。そこで、足腰が弱く自身がない方に、移動を助けてくれる『杖』の活用をお勧めします。杖を一本持ち、その杖に“ある道具”取り付けてひと工夫することによって、気軽に外出が楽しめますよ。

杖にひと工夫できる『便利道具』を４つ紹介

一本の杖が室内用と屋外用に早変わり！

【杖先くるりん】

杖先がくるりと反転し、室内でも清潔に使用できます。

メーカー／キヨタ

【室内用つえ先カバー】

杖先にカバーをかけて室内の汚れ防止になります

メーカー／ストリックデザイン

杖が倒れません！

【転ばぬ杖Ｎ】

杖を机に掛けても倒れません

メーカー／ユーワ

【スタンドゴムキャップ】

底面が広いので立てかけなくても自立します

メーカー／島製作所

最近の福祉用具は、おしゃれな色や素材、デザインが多く種類も豊富で、価格も色々です。

どのような道具が自分に合っているかなど、何でもお気軽にご相談ください。

お問い合わせ

射水市大島在宅介護支援センター
TEL：51－6010　／　FAX：51－6011

みんなのきもち　ありがとう

皆さまより福祉のためにご寄付いただいました。(平成30年１月～３月)
お寄せいただいた浄財は、各種社会福祉事業に活用させていただきます。

〈社会福祉事業〉

H30三ケ・戸破
還暦記念合同参詣者一同　11,511円
山嵜　百合子　19,501円
射水市立放生津小学校児童一同
10,000円

〈物品預託〉

富山県立新湊高等学校　生徒会
車いす３台
射水市立新湊中学校　生徒会
車いす５台

▲放生津小学校
アルミ缶回収収益金寄附

▲新湊中学校

▲新湊高校
生徒会活動収益金にて購入

賛助会費にご協力ありがとうございました

平成２９年度も企業、団体および篤志家の賛助会員のみなさまにご理解ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

会費は、本協議会が展開する地域福祉活動やボランティア事業、広報「福祉いみず」発行などに広く活用させていただきます。

平成29年度

賛助会員	262件
賛助会費	1,750,000円

写真レポート

３月９日　市民後見人養成講座（フォローアップ）

17名が参加し、認知症について正しく理解し、その人らしさを大切にする関わり方やコミュニケーションの取り方等の基本姿勢を再確認しました。

１月22日～３月12日　実習生受け入れ

富山国際大学より１名の社会福祉士を目指す実習生を受け入れ、市社協が地域住民と共により良い地域づくりに取り組んでいることを学んでもらいました。

ふくしのはなし　テーマ　手話って世界共通なの？

▲ 手話マーク
意味：手話で対応します

手話はその国や地域の風俗や習慣、文化などを元に作られていますので口で話す言葉同様に世界共通ではありません。例えば「食べる」という手話は、日本では自分の手を箸に見立て、アメリカならばパンを食べる動作を表すなど国での違いが顕著に表れています。また、日本の中でも「方言」があるようにその地域特有の手話がありますし、年代によって表現の違いがあります。

受講者募集

手話奉仕員養成講習会

初めて手話を学ぶ方を対象に、手話で日常会話ができるようになることを目標にした講座です。聴覚障がい者の日常を知り理解を深め、自立を支える手話奉仕員の養成を行います。

《日　時》平成30年５月15日（火）～12月21日（金）
全46回（毎週火曜日および隔週金曜日）
19:30～21:00
《場　所》大島社会福祉センター（射水市小島700番地１）
《受講料》無　料
《対象者》初めて手話を学ぶ市内在住又は市内勤務の方
《定　員》20人
《申込締切》５月９日（水）

音訳ボランティア養成講座

視覚に障がいのある方のために、図書や情報を音声で届ける録音資料の作成ボランティアの養成を行います。

《日　時》平成30年６月22日（金）～８月24日（金）
全10回（毎週金曜日）
10:00～12:00
《場　所》新湊交流会館 研修室（射水市三日曽根９番18号）
《受講料》無　料
《対象者》初めて音訳を学ぶ市内在住又は市内勤務の方
《定　員》15人
《申込締切》６月５日（火）

問合せ・申込先　地域福祉課　TEL 52-5190／FAX 52-5852

ひとりで悩まず一度ご相談ください。 相談無料・秘密厳守

◆日常生活の心配ごと、悩みごとの相談（心配ごと相談）
相談時間　13:30～16:00　　相談員　民生委員・児童委員

開設場所	開設日				問合せ先
	5月	6月	7月	8月	
新湊交流会館	17日	7日 21日	5日 19日	2日	新湊支所 ☎82-8450
大島社会福祉センター	1日 15日	5日 19日	3日 17日	7日 21日	地域福祉課 ☎52-5190

◆仕事や生活に困っている方の相談（自立支援相談）
時　　間　月～金曜日（年末年始、祝日を除く）９：00～17：00
場　　所　大島社会福祉センター
問合せ先　射水市生活自立サポートセンター
（地域福祉課内）☎52-7080

おやつタイム　みんなで一緒にクッキング♪

白玉団子いちごソース

材　料（４人分）
白玉粉　120ｇ
水　100cc
いちごソース
- イチゴ　１パック（約270ｇ）
- 砂糖　100ｇ
- レモン汁　適量

白玉をハート型や星形にしてもかわいいよ

<いちごソース>
イチゴは水洗いし、ヘタを取りよく水気を拭いておきます。適当な大きさにカットした後、砂糖を加えてよく混ぜ１時間おき、レモン汁を加え電子レンジ（500W強）でラップをかけずに３分間加熱。アクが出ていたら綺麗にすくって、そのまま自然に冷まします。

❶ 白玉子に水を加え、耳たぶくらいの固さに練る
❷ ❶を適当な大きさに丸めて、沸騰した湯に入れ団子を作る
❸ 浮いてきた団子を冷水に入れ冷やし、よく水気をきり器に盛りつけていちごソースをかけて完成

募集

あなたの撮った写真を
福祉いみずの表紙に！
皆さんのカメラでとらえた作品をぜひご応募ください。

射水市内お住いの方ならどなたでも応募できます。市内で撮影された市民活動の写真を募集します。詳細は電話にてお問い合わせください。

問い合わせ先
総務課　TEL　52-5010

2月号のまちがいさがしに、たくさんのご応募、ありがとうございました。

（応募総数　170名　うち154名の方が全問正解でした。）
寄せられたみなさんの声をいくつかご紹介します。

もっと住みよい射水市になってほしいと思いました。
（10代 男性）

私の家も社会福祉協議会の会員だということを初めて気づきました！
（40代 女性）

生活には、人と人とのつながりが大切であるということを再確認させられる。
（50代 男性）

各地域のボランティア活動力に感謝します。
（70代 女性）

ファミサポについてよくわかってよかったです。
（60代 男性）

2月号まちがいさがし答え

≪5つのまちがい≫
- ●右下の星が野球ボールに
- ●女の子のソックスの色
- ●男の子の持つ募金箱の募金口の大きさ
- ●ネコのヒゲの数
- ●希望くんの乗る羽根の長さ

プレゼントクイズ

クイズに答えて正解者の中から抽選でプレゼント！

○の中に言葉を入れてください。

クイズ 射水市社会福祉協議会の通称は何でしょうか？「射水市○○」
（ヒントは特集P2「社協ってなあに？」にあります）

ハガキ、又はFAXにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、性別、本誌の感想（良かった情報、改善点など）、その他ご意見などを記載し下記まで。

あて先 〒939-0274　射水市小島700番地1
（福）射水市社会福祉協議会「福祉いみず　プレゼントクイズ係」
FAX　0766-52-6190

応募締切 平成30年6月3日（日）必着　※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

今回のプレゼント

5名様にプレゼント

提供先　射水市共同募金委員会様より

商品　**妖怪ウオッチ鉛筆と下敷き・缶バッチセット**

赤い羽根共同募金は71年目に突入しました。『射水のまちを良くするするしくみ』に今後とも引き続きご協力宜しくお願いします。

9万人に届く！ 無料で会社や施設のPRをしてみませんか？

プレゼントを提供してくださる市内の事業者さんを募集しています。

プレゼントクイズコーナーでは、自慢の商品やサービスなど、頑張っている地元企業や施設の商品を紹介し、読者のみなさんにプレゼントさせていただきます。

本誌は市内3万2千世帯に配布しますので、会社や商品のPRに是非ご活用ください。

（掲載は無料です。詳細は電話にてお問い合わせください。
問い合わせ先：総務課　TEL　52-5010）

編集後記

本誌で『福祉いみず』も第50号となりました。振り返ると色々な情報を掲載してまいりました。これからも、みなさまにご愛読いただけるよう、旬の福祉情報をいろいろお届けしてまいります。　次号▶No.51　H30.8月発行